

世代を超えて地域のつながりを生み出す

【常磐東学区】常磐東学区いきいき祭り

《学区データ》

学区名：常磐東学区

世帯数：443世帯

（平成26年3月1日現在）

《団体データ》

団体名：①常磐東学区社会教育委員会

②常磐東学区福祉委員会

事業開始年度：平成22年度



◆取組のきっかけと経緯

常磐東学区福祉委員会は、常磐東学区社会教育委員会の下部に位置する組織で、月1回市民ホームなどで地域の高齢者を対象に体操やレクリエーションなどを行ういきいきクラブを行ったり、独居老人激励訪問や常磐3学区合同で福祉講座や懇親会を実施しています。

常磐東学区いきいき祭りは、平成22年度から福祉事業の一つとして、地域の住民が集まり交流できる企画をすることと、学区福祉委員会で行っている事業について地域の住民に理解をってもらうことを目的として、学区社会教育委員会と学区福祉委員会の共催により開催することとなりました。

◆事業内容

いきいき祭りは、年を経るごとに実施内容を工夫し、変更しながら行ってきました。1年目となる平成22年度は、学区の75歳以上の敬老者を対象にご飯を薪で炊きおにぎりを作り、さんまやしし汁、とろろを提供しました。準備や配膳などには、学区の消防団やPTA、福祉委員の家族などの協力を得て行いました。こうした炊き出しは災害時の訓練も兼ねて実施しており、どれくらいの量を作ればよいのかが分かるほか、子どもにも炊き出しの様子を見てもらうことで、防災意識を高めてもらう狙いもありました。しかし、地域のコミュニケーションを高めるためには、地域の幅広い年代の方に参加してもらう必要があります。そこで、2年目以降は、グランドゴルフに参加している高齢者など少し参加対象の年齢を広げ、3年目には、世代を超えた交流を図る目的で、小中学生も参加対象としました。その間に、メニューも参加対象の年代の方に楽しんでもらえるものへと工夫し、見直してきました。

そして、4年目を迎えた平成25年度には、9月に行う敬老会といきいき祭りを同日にセットで行うこととし、午前中に敬老会、午後に行きいき祭りを開催しました。そうすることで、敬老会の参加者はもちろん、その家族など地域の幅広い世代の方に参加をしてもらうことができ、参加者は約330人となりました。

メニューも、炊き出し昼食、太鼓演奏、映画上映、囲碁・将棋・ウッドカーリングなどのレクリエーションを行い、最後に地元の事業者や商店、地元住民の協賛により景品を多数用意した夢の大抽選会を実施しました。また、開催時期が防災シーズンであるため、起震車が来校し、地域が一体となって楽しみながら福祉や防災について体感できるイベントとなりました。

◆成果

いきいき祭りを開始して4年が経ちますが、毎年内容を見直し、工夫しながら参加者を拡大し、地域を巻き込んで開催してきたことで、地域住民にイベントが定着してきました。また、参加者を子どもから高齢者まで広げたことで、地域住民が世代を超えて交流を図ることができ、地域福祉を向上させると共に、地域のコミュニケーション力を高めることができました。

さらに、子どもが小さい時から参加することで、よりいきいき祭りが地域に根差したイベントとなり、将来的にもイベントを続けていくための礎を築くことができました。

◆今後の展望・課題

天候も踏まえ、どの時期に開催するのが望ましいのかを検討していくと共に、より多くの地域住民の方に参加していただけるよう、現在参加率の少ない50～60歳代の世代の方にイベントに参加してもらえるようなメニューを考えていく必要があります。

また、イベントの目玉となるメニューを生み出すことも必要です。平成25年度に実施した「夢の大抽選会」が盛況だったため、今後は地域住民が作った米などをもっと景品として提供し、地産地消に役立てたり、協賛してくれる事業者や商店の数も増やすことで、より盛り上がる目玉メニューとなるように工夫をしていく必要があります。

こんな工夫をしています！

●楽しみながら福祉や防災意識を高める！

→ いきいき祭りは、さまざまな工夫をこらしたメニューにより、地域の幅広い世代の方に楽しんでもらっています。

しかし、ただ楽しむだけではなく、地域の子どもから高齢者まで幅広い世代の方が一緒になってレクリエーションを行ったり、炊き出しを体験することで、地域のつながりを強化するだけでなく、「地域のお祭り」というイメージで楽しみながらも、福祉や防災について自然と意識を高めることができおり、災害時のいざというときにも役立つように工夫しています。

注目ポイント！

●地域が一体となって行う一大イベントへ

→ いきいき祭りは開始して4年が経ちましたが、年々参加者が増加しており、多くの地元住民の協力によりメニューを見直しながら地域をあげて開催していますが、地域住民の協力だけにとどまらず、夢の大抽選会では、学区内の事業者や商店の協賛も得るなど、市民と事業者が協働してイベントを実施しています。

地域住民のみならず、地域内に事務所を構える事業者なども巻き込んで行うことで、本当の意味で地域が一体となって行える地域の一大イベントとなることを期待しています。